

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	火勢鎮圧と認定したが、天井裏で火炎が急速に進展して活動隊員が脱出困難になった事案
3. 体験した事例の中心的要素	天井裏の残火確認を確実に行わずに火勢鎮圧と認定したことで、統制が緩み、その後の延焼拡大に対応する体制をとることができなかった。天井裏で火炎が急速に進展したことで、屋上で排煙活動を実施中の隊員が脱出困難となり、垂直状態に架ていた三連はそこから緊急脱出したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	各隊の指揮統制を行わず、開口部を開放したり、延焼状況確認のため小破壊を実施したため

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年2月17日 午後6時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外: 飲食店
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、火傷・熱傷
7. 事例体験時の活動	火災 その他: 鎮圧後の残火確認、[木造建物]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	残火整理
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[44]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[15]年、階級[消防司令] 同様の活動[1年に数度]、任務[車長]
○当事者B	年齢[34]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士長] 同様の活動[1年に数度]、任務[機関員]
○当事者C	年齢[26]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士] 同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	年齢23歳・勤続4年・現場経験2年・階級 消防士・同様の活動 過去に1、2回・任務 隊員

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A、B、C	煙がなく屋根形状が急こう配であったため 空気呼吸器を離脱し、ベランダから屋上へ	
経過2	当事者D	当事者A、B、C屋上進入のためかぎ付きはしごをベランダにて確保	
経過3	当事者A、B、C	排煙活動のため棟木付近を切断、開口部 を作成する	
経過4	当事者A、B、C	濃煙が急速に拡大し退路を失ったため、 大隊長へ三連はしご架てい要請	
経過5	当事者D	濃煙内のベランダでかぎ付きはしごを確保 し待機していた	
経過6	当事者D	屋内から緊急退避する消防隊2名と共に、 緊急退避で他隊がベランダに架ていた 三連はしごを使用し地上へ脱出	
経過7	当事者A、B、C	垂直状態に伸ばした三連はしごを使用し 地上へ脱出	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

指揮者が適切に指示した たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--



トタン剥離
排煙活動





1階店舗出入口
から脱出

2階ベランダから
三連はしごで脱出

南西角へ避難





三連はしごで脱出



西側出入口
から脱出





19時57分



20時00分

20時06分



20時17分



20時20分



20時24分





20時42分